オンライン請求ネットワーク関連システム

共通認証局

ユーザーマニュアル

(Mac Safari)

電子証明書の更新作業（抜粋版）

※ 抜粋版は、電子証明書の更新に係る作業を「オンライン請求ネットワーク関連システム共通認証局ユーザーマニュアル（Mac_Safari)」（全体版）から抜粋したものです。

収載内容

章番号については、本紙（全体版）の番号と異なります。

1. 証明書の更新

オンライン請求ネットワークへ接続の端末（レセプトオンライン用端末）で請求書を更新します。

1.1. 更新申請画面からの更新

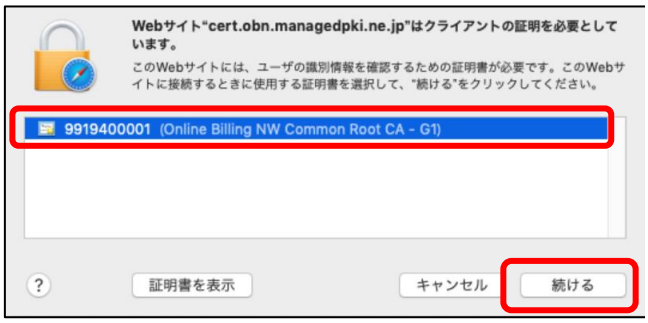
注意　**必ずすべてのブラウザを閉じてから、手続きを実施して下さい。**

１．**更新対象の証明書がインポートされた端末**からオンライン請求ネットワークに接続して更新申請画面へアクセスします。

■証明書更新申請サイト URL

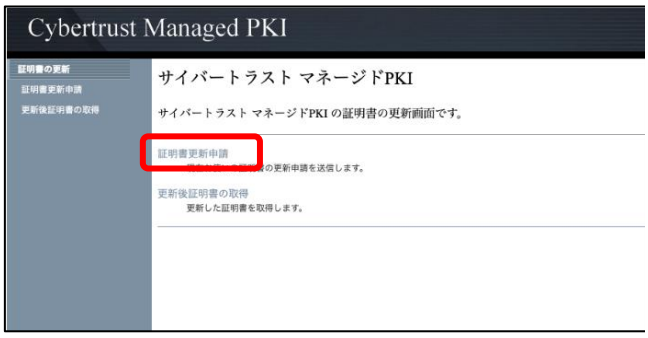
https://cert.obn.managedpki.ne.jp/p/ru

※オンライン請求システムにログインすると、電子証明書更新申請サイトのリンクがあります。



２．電子証明書の選択画面が出てきたら、更新対象となる証明書を選択し、「**続ける**」をクリックします。

３．パスワードに OS アカウントのログインパスワードを入力して「許可」をクリックしてください。



4．「**証明書更新申請**」をクリックします。

5．「Submit」をクリックします。

６．「**送信完了**」画面の「**証明書ステータス**」が「**発行済み**」となれば証明書が発行されます。「**証明書ステータス**」は、「**鍵生成中**」→「**発行要求中**」→「**発行済み**」と遷移します。

７．「**鍵の取得**」画面に遷移後、「**パスワード**」に**鍵の暗号化パスワード（任意のパスワード）半角数字４桁**を入力し、「**Submit**」をクリックします。

【注意】

入力した証明書パスワードは、「2.1.　証明書のインポート」の３及び「2.2. Java 実行環境に電子証明書をインポート」の８で使用します。**設定した鍵の暗号化パスワードを忘れないようにしてください。**

８．「**Download**」をクリックし、証明書を保存します。

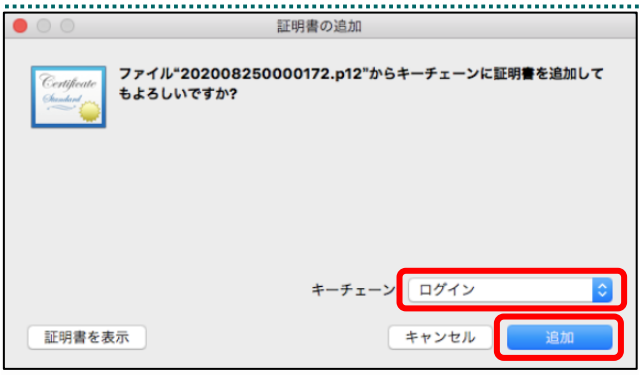
2. 証明書のダウンロードとインポート

【電子証明書のダウンロード】
電子証明書をダウンロードサイトよりダウンロードします。
電子証明書のダウンロード可能期間は、発行後 180 日以内ですので、ご留意願います。

2.1. 証明書のインポート

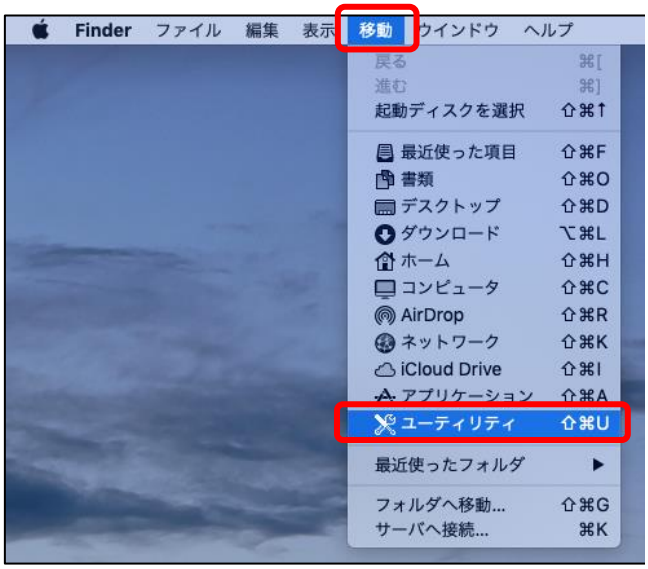
【セットアップ】
電子証明書をオンライン請求端末にセットアップします。

1．ダウンロードした証明書をダブルクリックします。

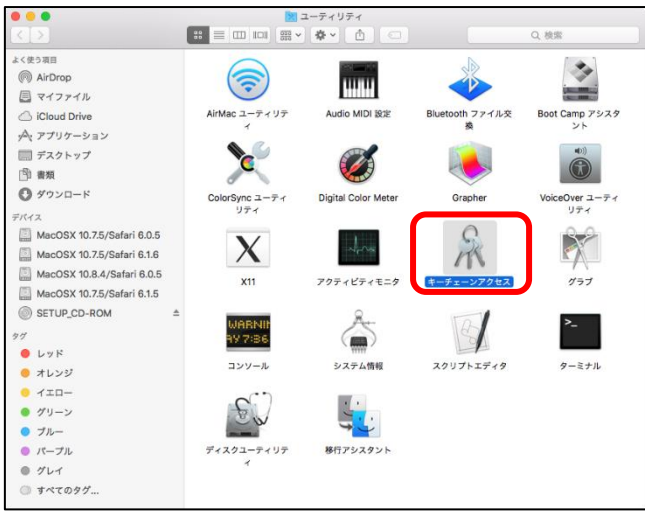


2．「**証明書の追加**」が表示された場合は、キーチェーンに「**ログイン**」を選択し、「**追加**」をクリックします。

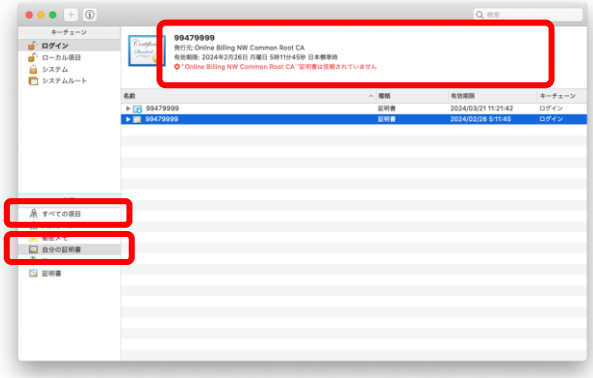
3．「**鍵の取得**」画面で入力した**鍵の暗号化パスワード（任意のパスワード）**を入力して「OK」をクリックします。



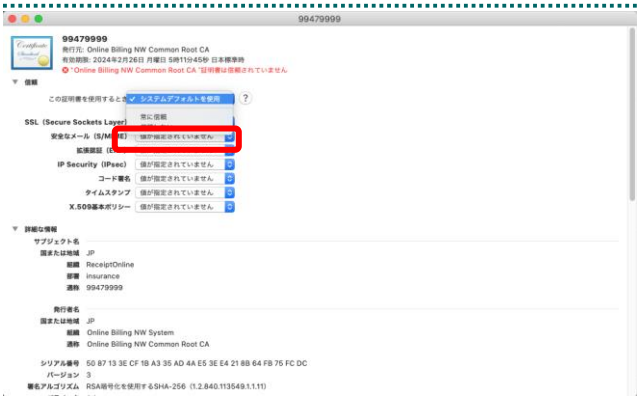
4．Finder のメニューバーから「**移動**」-「**ユーティリティ**」の順に選択します。



5．「ユーティリティ」画面が表示されます。「**キーチェーンアクセス**」アイコンをダブルクリックし、「キーチェーンアクセスを開く」を選択します。

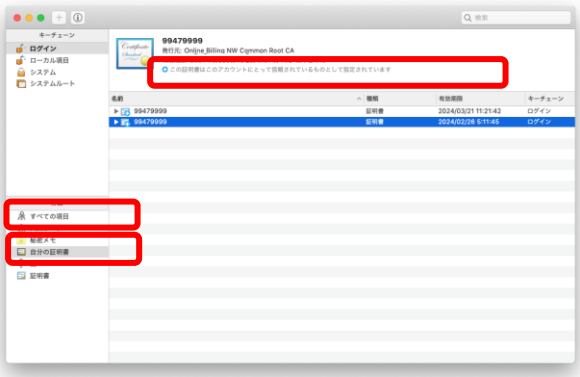


6．「**すべての項目**」→「**自分の証明書**」を開き、発行元が「Online Billing NW Common Root CA」と表記されている証明書をダブルクリックします。



７．「＞信頼」から信頼タブを開いて「**この証明書を使用するとき**」のプルダウンをクリックし、「**常に信頼**」を選択します。証明書の画面を閉じて設定を完了しようとすると、パソコンログイン時のパスワードを入力する画面がポップアップされます。

８．「**パスワード**」入力欄に OS アカウントのログインパスワードを入力して「**設定をアップデート**」をクリックします。



９．「**すべての項目**」→「**自分の証明書**」を開き、「Online Billing NW Common Root CA」が一覧に表示されていることを確認します。
（証明書をクリックし、上部の証明書詳細に「この証明書はこのアカウントにとって信頼されているものとして指定されています」になっていることを確認します。）

注意	上記の操作が終了したら、必ずすべてのブラウザを閉じて下さい。

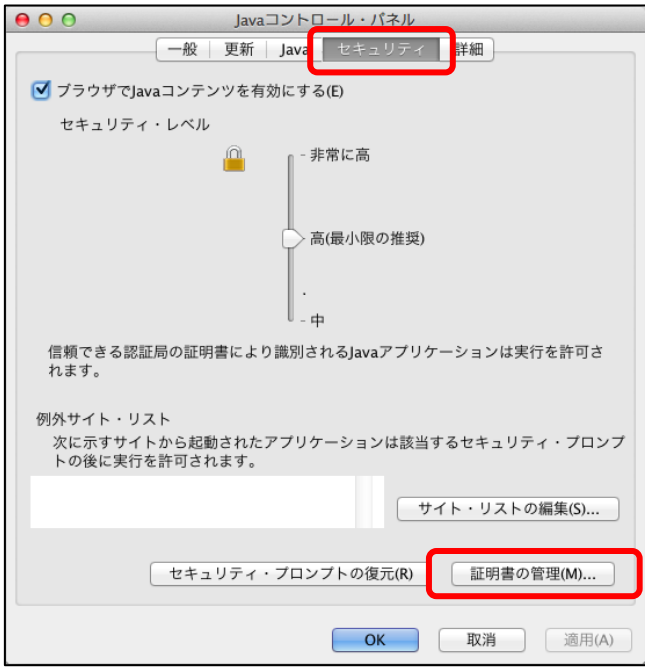
2.2. Java 実行環境に電子証明書をインポート

パソコン上にダウンロードした電子証明書を Java 実行環境にインポートします。
ここでは、MacOS 10.11、10.9、10.8 および 10.7 における操作手順を説明します。

1．Finder の画面に戻り、メニューバーから、「**移動**」-「**アプリケーション**」の順に選択します。

2．「アプリケーション」画面が表示されます。「**システム設定**」アイコンをダブルクリックします。

3．「システム設定」画面が表示されます。「**Java**」アイコンをクリックします。



4．「Java　コントロール・パネル」画面が表示されます。

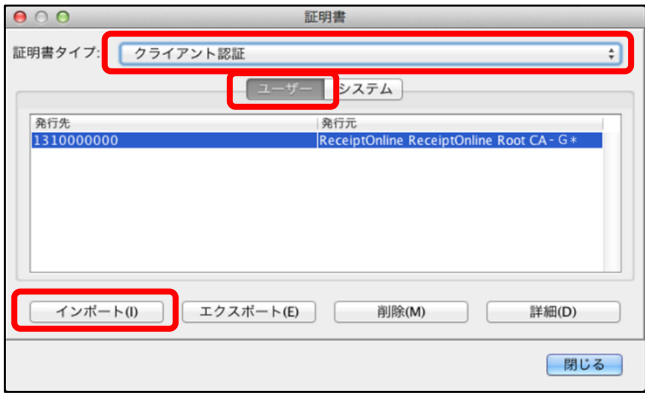
「**セキュリティ**」タブを選択し、「**証明書の管理**」をクリックします。

※Java　のバージョンによっては、「証明書」ボタンと表示される場合があります。その場合は、「証明書」をクリックしてください。

こんなときは！

Java コントロール・パネル画面が表示されない

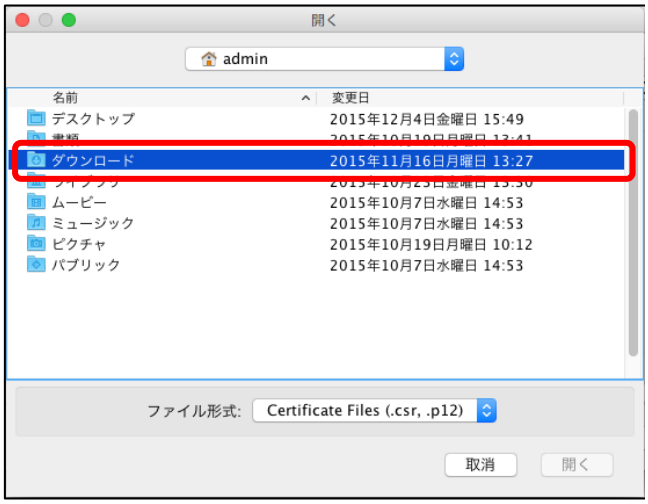
「**Java　コントロール・パネルの再オープン**」をクリックしてください。



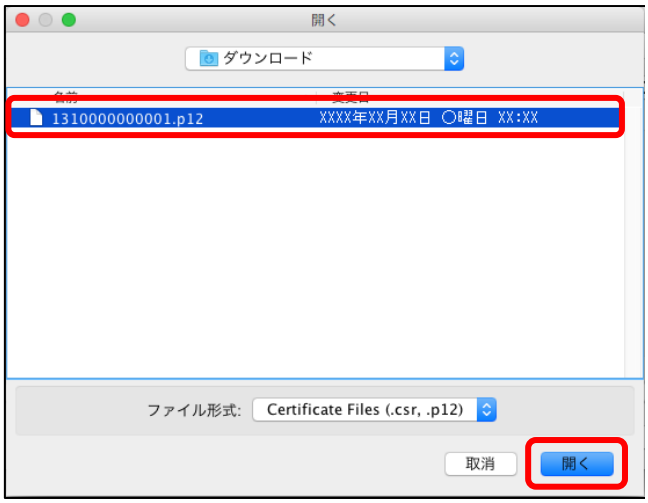
5．「証明書」画面が表示されます。

「証明書タイプ」の「▼」をクリックし、「**クライアント認証**」を選択します。

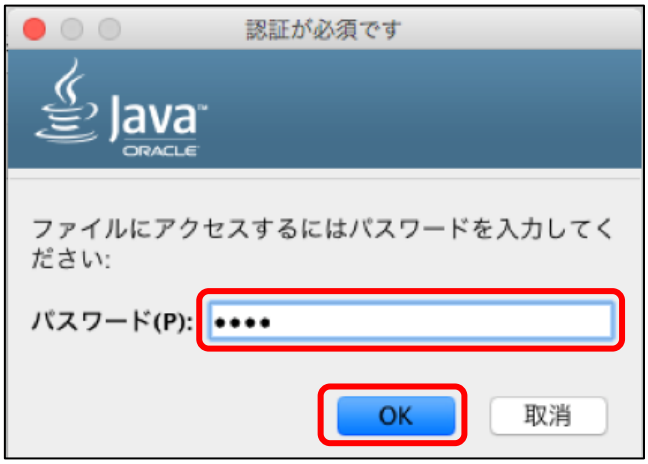
「**ユーザー**」タブを選択し、「**インポート**」をクリックします。



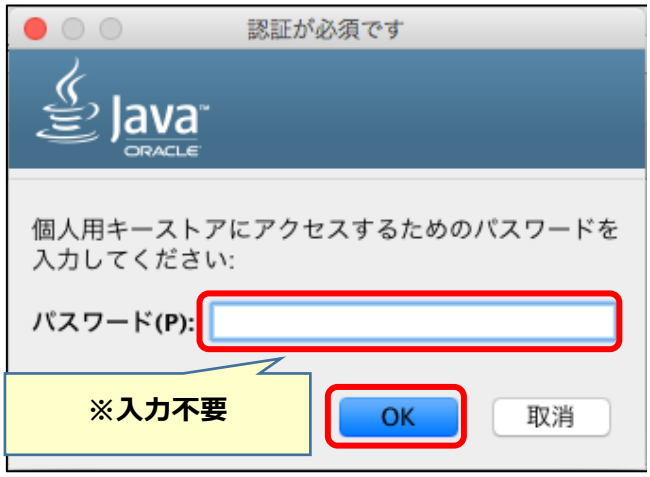
6．「開く」画面が表示されます。
「**ダウンロード**」をダブルクリックします。



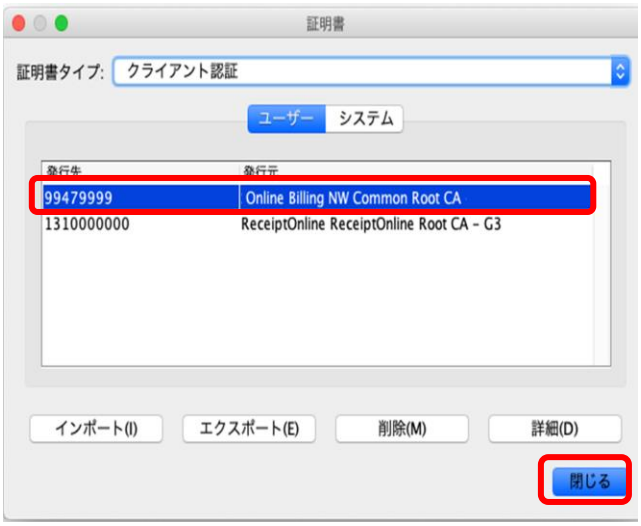
7．ダウンロードした電子証明書を選択し、「**開く**」をクリックします。
※環境によって表示されるボタン名が異なる場合があります。「**開く**」の代わりに「**Open**」が表示された場合、「**Open**」をクリックします。



8．パスワード入力メッセージが表示されます。
「**鍵の取得**」画面で入力した**鍵の暗号化パスワード（任意のパスワード）**を入力して「**OK**」をクリックします。



９．引続き、パスワード入力画面が表示されますが、個人用キーストアにアクセスするための**パスワードは入力せず**に、「OK」をクリックします。

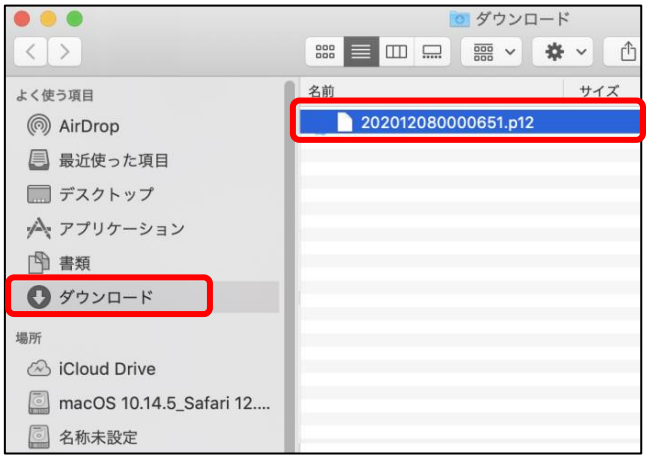


１０．「証明書」画面に戻ります。
「発行元」に「Online Billing NW Common Root CA」が表示されていることを確認し、「**閉じる**」をクリックします。

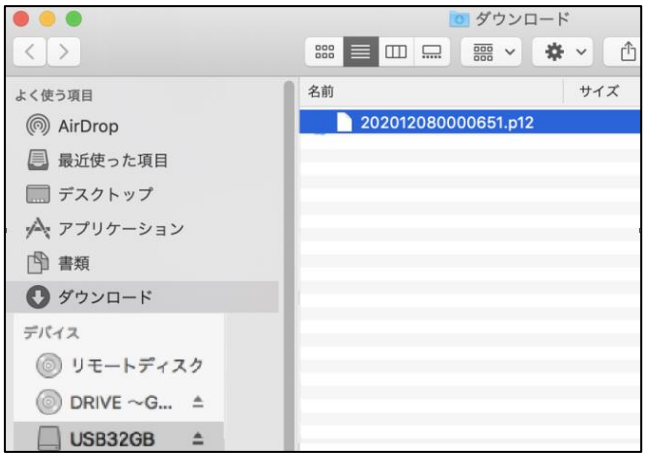
１１．「**Java コントロール・パネル**」画面に戻ります。
「OK」をクリックします。

2.3.　証明書のバックアップ

外部記録媒体等へ証明書をバックアップします。バックアップした証明書はパソコンが故障した際などに他のパソコンにインポートします。その際には、「**鍵の取得**」画面で入力した**鍵の暗号化パスワード（任意のパスワード）**も必要となるため、忘れないように保管ください。



１．インポートした証明書が**「ダウンロードフォルダ」**に入っていることを確認し、インストールを行った証明書ファイルを選択し**Command キー**を押しながら外部記録媒体等へドラッグ＆ドロップします。



２．外部記録媒体等を開いてバックアップが確実に実施されたことを確認します。

【注意】

「鍵の取得」画面で入力した鍵の暗号化パスワード（任意のパスワード）は厳重に管理してください。
証明書の情報が第三者に知られると、証明書が不正に使用される恐れがあります。
証明書を紛失した場合、または、第三者に知られた可能性がある場合は、速やかに証明書失効申請を行ってください。また、パソコンを紛失した場合も証明書が不正に使用される恐れがあります。速やかに証明書失効申請を行ってください。